

「車いす空の旅 沖縄」にボランティアとして参加

神奈川県遊技場協同組合と神奈川福祉事業協会（会長は県遊協関根貞雄理事長が兼ねています。）は、神奈川新聞厚生文化事業団が年 2 回行っている「車いす空の旅事業」に、平成元年度から毎年 300 万円の支援を続けてきております。今回も県遊協職員がボランティアとして参加しました。

1. 日 時	平成 22 年 4 月 8 日（木）～10 日（土）
2. 場 所	沖縄（残波岬、美ら海水族館、琉球村 ほか）
3. 主 催	神奈川新聞厚生文化事業団 主催 NPO 法人フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会 共催
4. 参 加 者	肢体障害者 17 名とその家族及び看護師・ボランティアなど総勢 68 名
5. 概 要	神奈川新聞厚生文化事業団では、車いす生活をおくる障害者とその家族を招待し、毎年 4 月は沖縄、9 月には北海道と飛行機を利用して訪れています。この事業はボランティアの協力により支えられています。県遊協では職員もボランティアとして参加しており、障害者のご家族の方々とともに活動しました。なお、この「車いす空の旅」については、4 月 9 日付、11 日付及び 5 月 5 日付神奈川新聞にそれぞれ掲載されています。



東シナ海を背景にイルカのオキちゃんと対面 南島人の獅子舞は、美しい口笛と滑稽さが醍醐味



※ この事業を支えているボランティアは、看護師、施設のヘルパーなどの他にも、普段は障害の方とあまり触れ合いのない社会福祉協議会職員、報道関係者など多業種にわたります